

# 文化財通信くまもと

第7号

1993.4

熊本県教育委員会



うてな遺跡の遠景（南西上空より）

この写真は、菊池郡七城町辺田の上空よりとった航空写真です。写真のはば中央に、うてな台地の平らな面があり、東西方向にのびています。この台地は、菊池川の支流である内田川・木野川と迫間川とにはさまれていて、標高が約70m～80mあります。

うてな遺跡はこの台地の西側の端にあり、遺跡からはまわりを良く見ることができます。今回調

査したのは、遺跡の中央より南側によったところです。写真には、弥生時代後期の環濠と古墳時代前期の方形周溝墓が見えます。こより北側にある、排水路を作る前の調査で、弥生時代後期から古墳時代前期の竪穴住居址（約80軒）と環濠（7本）などが見つかりました。今回見つかった環濠と前回の調査で出てきた竪穴住居址・環濠は関連があります（P.2 参照）。



## うてな遺跡

所在 地 菊池郡七城町大字台  
調査面積 約7,000m<sup>2</sup>

うてな遺跡の今回の調査は県道を改良する工事にともなうものです。調査したところは、その道路幅なので細長くなっています。

### 縄文時代の調査

縄文時代の後期の土器が出てきました。しかし、家のあとなどは見つかりませんでした。

### 弥生時代の調査

2本の溝あとが見つかりました。今回調査したところより北側に、家のあと（竪穴住居址）が見つかっています。2本の溝は、この家があるところの外側（集落の南側）にあります（環濠）。溝の中からは、弥生時代終わり頃の土器がたくさん出てきました。これらの土器はつぶれた状態やわれた状態で見つかりました。出てきた土器をつなぐと、かめ・壺・鉢（深い皿）などの形になります。土器のほかに、石でつくった道具（石器・石製品）が少し出てきました。特にめずらしいものは、火山噴火でできたやわらかい石（凝灰岩）のこしあけです。

### 古墳時代の調査

四角に溝をめぐらした墓のあと（方形周溝墓）3基、木で作った棺のあと（木棺）4基、壺を使った棺



溝跡の遺物出土状況



凝灰岩のこしあけ



木 棺

(壺棺) 1基が見つかりました。これらは台地西側の端にまとまっています。方形周溝墓は、溝の中から出てきた土器から、古墳時代の前期のものと考えられます。木棺は木のまわりをねんどでおおっています。1号・4号・5号木棺の中からは、ガラスの玉がたくさん見つかりました。ガラスの玉は首かざりや腕輪にしたもので、本棺・壺棺も方形周溝墓と同じ頃のものと思われます。

#### 平安時代の調査

地面を四角にほって、その上に屋根を作った家のあと（竪穴住居址）46軒、地面に柱を建てた家のあと（掘立柱建物跡）5棟が見つかりました。ほかに、道のあと1本、溝のあと3本、地面をほった墓のあと（土壙墓）2基が出てきました。竪穴住居址には、かべに接してかまどがあります。かまどの中には灰や焼けた土が入っていました。竪穴住居址は2～7棟が重なって見つかりました。道のあとは、くぼんでいて、人が歩いた部分が硬くなっています。

#### 鎌倉・室町時代の調査

掘立柱建物跡3棟・土壙墓2基・道路のあと10本・溝のあと2本が見つかりました。掘立柱建物跡のうち、2棟は同じ向きに、接して建っています（平行型二棟造）。10本の道路あとは上下に重なっていて、同じ方向にのびています。



掘立柱建物跡



道 路 跡

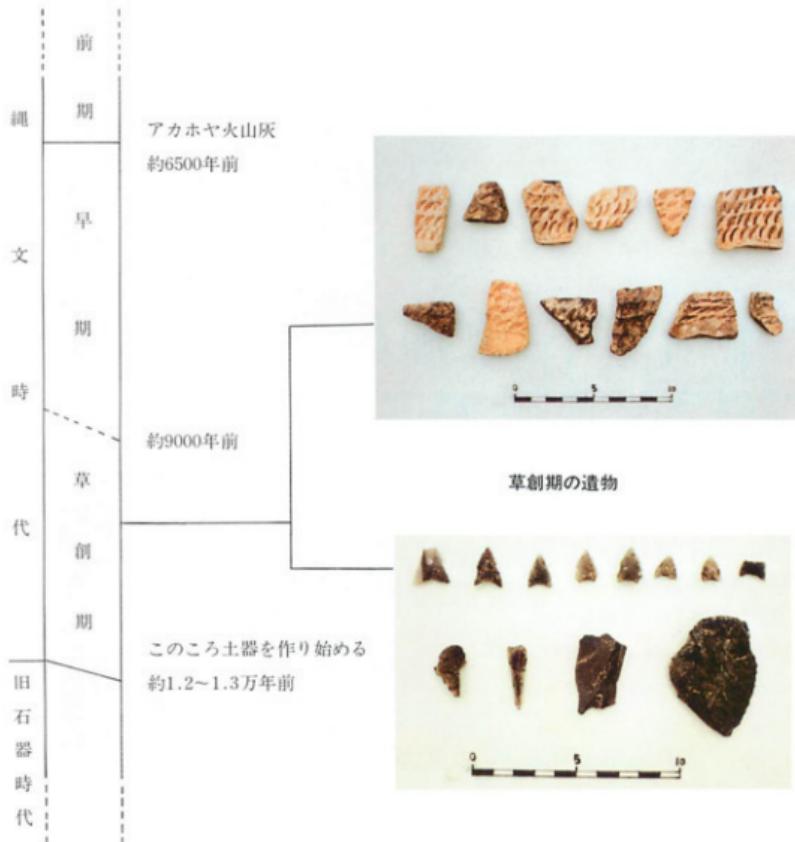


道路の下に石を並べた状態

## 白鳥平B遺跡

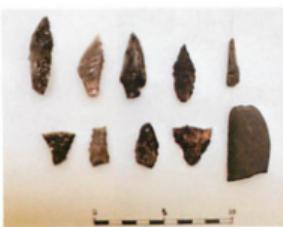
所 在 地	熊本県人吉市赤池水無町
広 さ	約10000m <sup>2</sup>
立 地	丘陵上 標高170~173m
遺跡の年代	先土器時代、縄文時代草創期、早期、近世（江戸時代）

先土器（旧石器）時代の終わりごろ、少しづつ気候が暖かくなりまわりの動物、植物が変化しはじめたことから人類の生活の形が変化します。そのなかで大きな変化として「土器」という新しい道具を作り、使いはじめます。この時代を縄文時代草創期といいます。このように「土器」が作られるようになって、木ノ実や貝類などを煮たり炊いたりして食べることができます。食生活が豊かになりました。白鳥平B遺跡では土器の表面に爪をおしあてて文様をつけた古い土器片が多数見つかりました。





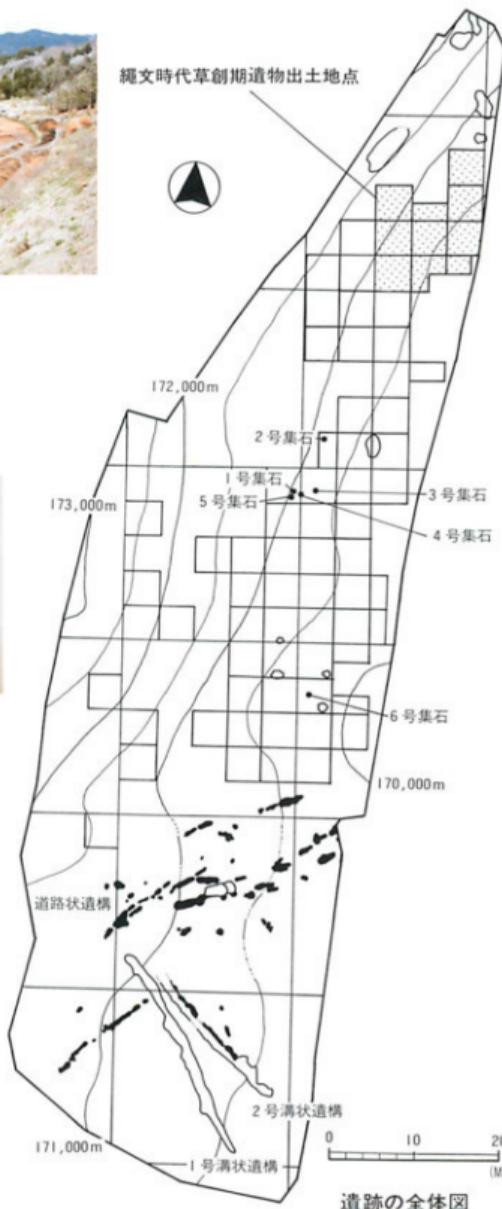
遺跡の全景



先土器時代の遺物



先土器時代の遺物



遺跡の全体図

## 迫の上遺跡

所 在 地	熊本市龍田町上竜田字迫の上
広 さ	約5,000m <sup>2</sup>
立 地	丘陵上 標高約90m
遺跡の年代	縄文時代

この遺跡からは、縄文時代の早期の土器が沢山見つかりました。木の棒に刻み目を付けて土器の表面を転がして文様を付けた、押型文土器が数多く見うけられます。その他、石を打ち欠いて作った石斧（打製石斧）ややじり（石鎌）が見つかりました。とくに黒曜石で作った石器もありますが、黒曜石の産地は近くにありません。

また、縄文人が住んでいた家の跡は見つかっていませんが、煮炊に使ったと思われる石組み（集石造構）が見つかっていますので、この地に生活していた縄文人の様子を想像することができます。



遺跡の全景（南上空より）



II区. 調査区全景



IV区. 縄文時代のやじり出土状況



II区，押型文土器出土状况



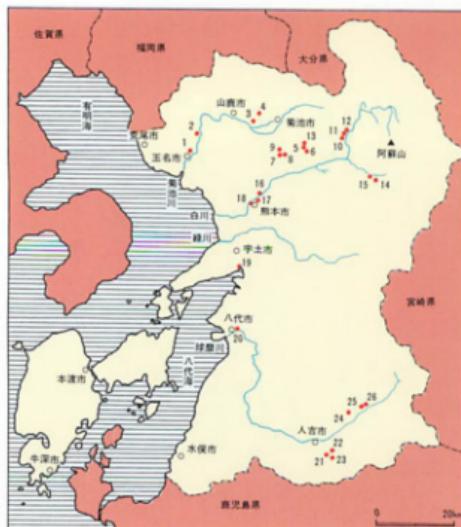
II区，土師器出土状况



I区，集石出土状况

## 平成3年度に調査した遺跡

No	遺跡名	所在地(立地)	事業名	調査期間	成果(時期)
1	大塚	玉名市立願寺(台)	国道	H3.4 ~ H3.9	遺物散布地(縄~後)(奈良、平安)、周溝状遺構(古)
2	宮の前	玉名郡菊水町長小田(段)	は場		カメ塀、整穴住居址、溝
3	うてな	菊池郡七城町(台)	県道	H2.11 ~ H3.11	周溝状(後)、方形溝構(古~前)、整穴住居址(平)、道路跡-掘立柱建物跡(縄~后)
4	鞠智城	菊池郡菊鹿町米原(台)	国庫・県		八角円堂、掘立柱建物跡、礎石建物(奈良~平)
5	面の平	菊池郡志志村(台)	烟總		整穴住居址(弥生時代後期)
6	ワクド石	菊池郡大津町(台)	烟總		石垣跡、遺物散布地(縄~後、後)、整穴住居址(縄、古)
7	出口	菊池郡志志町(台)	烟總		整穴住居址(弥生~後)、遺物散布(縄~後、後)
8	揚土	菊池郡合志町(台)	烟總		面鏡(中世)、整穴住居址(奈良~平安)、掘立柱建物跡(奈良~平安)
9	峰	菊池郡合志町(台)	烟總		整穴住居址(奈良~平安)、遺物散布(縄~後、後)
10	狩尾湯ノ口	阿蘇郡阿蘇町宇野尾(微)	激甚復田	H3.9 ~	集落(弥生~後)、V字溝、銅鏡、素面鏡刀子、勾玉
11	狩尾方無田	阿蘇郡阿蘇町宇野尾(微)	激甚復田	H3.12 ~	集落(弥生~後)
12	池田古園	阿蘇郡阿蘇町宇野尾(台)	激甚復田	H3.12 ~	集落(弥生~後)
13	亀塚	菊池郡志志村(台)	農道	H4.3 ~	
14	柏木谷	阿蘇郡久木野村字久石(丘)	は場		整穴住居址(奈良~後)、土壤塗、方形周溝塗、円墳(古)
15	原口	阿蘇郡久木野村字河陰(丘)	は場		整穴住居址(弥生~古)
16	道の上	熊本市龍田町上立田(丘)	国道	H3.11 ~	遺物散布地(縄~早、後)
17	古城跡	熊本市古城町(台)	県立学校		掘立柱建物跡、地下倉(江、明)
18	熊本城	熊本市千葉城町(台)	美術館		柱穴、溝、石垣
19	神の元1号墳	宇都郡不知火町高良(台)	農道	H3.3 ~ H3.7	古墳時代後期の古墳
20	八代大坂古墳	八代市東片町(低)	道路	H4.1 ~	前方後円墳、周溝地盤
21	白鳥平A・B	人吉市赤地水無(丘)	自動車道		馬形文土器・朱石(縄~草創期~早期)
22	人我胸	"	"		遺物散布地・墓石(縄~早)
23	永谷	"	"		遺物散布地・墓石(縄~早)
24	大原府	球磨郡錦町木上(丘)	国营川辺	H3.7 ~ H3.12	土坑・貯藏穴、遺物散布地(縄~後)
25	別府	球磨郡須恵村(丘)	烟總		遺物散布地(旧石器~平)
26	中尾	"	"		"



### (凡例)

1. 立地については、それぞれ台地、丘陵地、山地、段丘、河川の箇字をついた。

2. 成果の時期は、次のように記す。

先土器時代――先 奈良時代~平安時代

縄文時代 早期~晩期 平安時代~平安時代

縄~早、前、中、後、晩 中世~中世

弥生時代 前期~後期 近世~近世

弥~前、中、後 古

### 〈編集後記〉

今回は、平成3年度に実施した調査第2係の調査成果をお知らせしました。これからも、より身近な文化財を目指して発見を重ねたいと思います。みなさまからの御意見・御感想をお待ちしています。

### 第7号

平成5年3月31日発行

発行 熊本県教育文化課

発行 熊本市水前寺6丁目18-1

電話 096-383-1111番

内6715-6716

印刷 コロニー印刷

04 教委 文教

③ 004